



品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成19年 1月24日

財団法人 建築
中央試験所長 幸
埼玉県草加市稲荷 号



| | |
|----------------------|--|
| 試験名称 | 木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験 |
| 依頼者 | 会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市大字井戸場84-9 |
| 試験体 (依頼者 提出資料) | 1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：クリビスプレート KBPL 用途：柱の仕口に使用する金物（中柱型） 寸法：120×55mm，厚さ0.6mm 材質及び表面処理：溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板 ZAM (MSM-CK400-DA 190) 2. 接合具 木ねじ：クリ平頭ビス 5×45，柱側3本，横架材側3本使用 長さ：45mm，ねじ部の長さ：39mm，ねじ部の外径：5mm，谷の径：3.4mm ねじ山のピッチ：3.1mm，ねじ先の形状：とがり先 材質：SWCH18A (JIS G 3507-2) 表面処理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610 及び JIS H 8625) 3. 軸組 柱及び横架材：樹種：すぎ，寸法：105×105mm 4. 試験体数 7体（うち1体予備試験体） 参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法） |
| 試験方法 | 木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。 |
| 試験結果 | 短期基準引張耐力（ $P_{0.t}$ ）：6.8kN 耐力算定の基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1～写真-6 |
| 備考 | 当該試験結果は，平成12年建設省告示第1460号表三（は）に定める T字型かど金物くぎCN65×10本， 山形プレート金物くぎCN90×8本（必要耐力5.1kN）に該当する。 |
| 試験期間 | 平成18年12月18日 |
| 担当者 | 構造グループ 試験監督者 川上 修 試験責任者 室星 啓和 試験実施者 林崎 正伸， 高橋 慶太 |
| 試験場所 | 中央試験所 |